

Mランドニュース Vol.123

丹波ささ山校 平成29年6月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

後悔をしない生き方は、
 気づいたら実行するという
 習慣でこそ作られていく。

(株)新宮運送グループ 木南一志代表 発行
 「出会い」五月号 文中より

創立五十五周年

五月二十七日(土)で、弊社は創立五十五周年を迎えることができました。

前日の二十六日には記念式典を開催させていただきました。昨年と同様、式典前に「感謝」の気持ちを込めて、職員全員で四十五分間、館内のそうじをしました。

この日は「そうじの力」で取り組んでいる、毎朝のそうじだけでは行き届かない場所をそうじしました。



みんなでやれば



ケガないように保護

そうじが終わった館内は爽やかな空気が流れ、気持ちよく記念式典を迎えることができました。

午前の部の式典では、島根県益田市よりお越しいただいた、本社コガワ計画 松本亨社長より、宇宙の三大原則といわれる、

- ・与えるものは与えられる。
- ・世の中は生成発展する。
- ・思いは成就する。

ということばから、私たちの進むべき方向性をお話いただき、つづいて、水津裕二



お話しされる松本社長



創立55周年記念式典

水津専務のお話し

専務より、「交通事故ゼロ」にするための組織づくりとして、「こと」をするうえで、「心」のあり方がいかに大切なことかを、ゲストに伝えられる教習所であればならない。皆で「叡知」を出して、目標を達成していこうとお話いただき、我々の進むべき方向、目標を見据えることが出来ました。

今回の研修では職員を六つのグループに分け、ある「トラブル」を想定。個人それぞれへの対処法を比較し、いかに人によって考え方が違うかを理解した上で、メンバーで対話を行ない、最善の方法を探るといったものでした。また、チーム毎に対処法



次々と前向きな発想へ

午後部では、弊社が職員研修の一環で取り組んでいる「教育コーチング」で指導いただいている、一般社団法人日本青少年育成協会 増田乃美様をお招きして、「対話」をテーマに職員同士のコミュニケーションについての研修会を行いました。私たちの仕事は、教習指導員、事務職員、カフェミロのスタッフと、おおむね自分のやるべき一日の仕事が決まっております。何か事あるとき以外、相談することがないのが実情です。

五月十四日(日)に「篠山掃除に学ぶ会」を、八上小学校のトイレをお借りして開催しました。貴校では、積極的に美しいトイレ作りをされていることを、本紙で何度かご紹介しました。この日、いつものように男子トイレに入りますと「お子トイレ」。小便器の「尿こし」の穴に針金の輪が取り付けられていました。「尿こし」を取り出して掃

掃除に学ぶ

想定とはいえ時間とともに話し合いは白熱し、相手の話に傾聴すること、異なる意見を尊重する大切さなどに気付く研修会でした。



「なるほど…」 目からウロコ

この日参加された皆さんは、進化し美しくなっていく小学校のトイレを、我がことのように喜んでおられました。



「気持ちがいい」とはこのこと

普段から美しくされているトイレは掃除も容易ですが、丁寧さを意識して床や便器を磨かせていただきました。



ピカピカの尿こし



思いがかたちに

除をされていることを窺い知ることができ、とりわけ目が届きにくい所にも、目を向けられていることが想像できました。

手話教室

今月も、五月七日(日)と二十一日(日)の二日間、篠山ろうあ協会 大内和彦様と臼井実加様に手話を教えていただきました。

一日目の手話は、二人で昼食へ行くことになってから、店を決めるまでの会話のやり取りを例に教えていただきました。

一つひとつの手話が確実にないと、正しく伝わりませんので、最初はゆっくりと教えてくださいたいです。



指や手の動きは正確に!

多くの手話はこれまでに覚えたもので、人によっては普段の会話のように表現できる人、余裕でアドリフができる人もあり、手話教室の成果を感じた反面、あまりにも覚えるのに時間がかかり、さすがに優しい大内先生も、「いいかげんにしなさい」と、言わんばかりの人もいました。

二回目は何例かの質問形式の会話で、指の示す方向や手の置き位置ひとつで違う意味になってしまうことを、丁寧に教えていただきました。

「い」と、言わんばかりの人もいました。二回目は何例かの質問形式の会話で、指の示す方向や手の置き位置ひとつで違う意味になってしまうことを、丁寧に教えていただきました。



相手の立場になって伝えます

すぐ身につく人、時間のかかる人。私たち教習指導員でも「手話」となると、このように個人差があります。

同じように「運転」でも、ゲストによってすぐ身につく人、時間のかかる人も当然あるのです。

私たちも「知っていて当たり前前、説明したらできるのが当たり前」の感覚に陥っており、「できないこと」を通して、「知らない人、できない人の立場や気持ち」にあらためて気付いた気持ちのいい研修でした。

手話研修担当 前川 昂希

切磋琢磨

五月十六日(火)、株式会社そうじのカ 小早祥一郎先生をお招きして、そうじのカプロジェクトのリーダー研修を行いました。

まず、この一か月の取り組みに対して、小早先生からアドバイスをいただきます。繰り返し言われるのが、会社をきれいにすることが目的ではなく、異変に対処する「気付きの感度」を高め、「チームワークで改善」することが目的だということです。

後半の実習では、お客様をお迎えする玄関ホールを例として採り上げました。



いつもの風景を違った観点で

目の届くところは気付いても、目の届かない所はなかなか気付きません。

このことを例として、今月も気付きのポイントを教えてくださいいただき、我々の成長を手助けいただいております。

篠山と共に

五月二十七日(土)、市内企業(株)オーリス様の社員約二〇〇名の皆さまを前に、三回目の「交通安全教室」をさせていただきました。

今回のテーマは「シートベルト」、「運転中の携帯電話」、「一時停止」の三点で、何のためにするのかという観点から、事例や映像を交えながらお話ししました。



共に事故のない社会へ

いずれも運転者本人の気持ちのあり方が、自動車の動きとなって表れます。

もし走るだけの自動車ならそれは凶器でしかなく、自動車に「心」が乗っていないければ、事故を防ぐことはできません。

交通事故の悲惨さは、相手に与える被害のみならず、双方家族の人生をも一瞬にして奪ってしまうことにあります。

ます。

身近な事故事例となると皆さまの表情も一変し、事故を起こされないことを願わずにはいられませんでした。



皆さまの真剣さに感謝

教習ゲストだけでなく、

このような場を通して「心の運転」をお伝えし、私なりの地域貢献をさせていただいたことを嬉しく思います。

ライダートーム 長谷川泰之

今月のありがとうカード

Mランドの皆さまへ

Mランドに来て二週間が過ぎました。卒業検定も無事終わり、本当に感謝しています。二週間、長いようで短かったです。でも、すごくよい経験ができました。また、朝のボランティアにも四回参加して、充実した日を送ることができました。本当にありがとうございました。 田尻 慶一様

前向きな姿勢に、私たちが刺激を受けました。スタッフ一同

編集後記

今年も多くのの方々に支えられて、創立の日を迎えることができました。

時間がくれば勝手にこの日がやってくるというのは大間違いで、私たちの日々の仕事への取り組み方が、お客様に支持される企業でなければ、この日を迎えることは叶いません。

まさに、「薄紙を一枚一枚積み重ねる」ように、「信用」を積み重ねる大切さを確認させていただく日でもあります。

「若者に生きる勇氣と希望を与えられる教習所」として、百年企業を目指します。(徹)

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

6/10 (土) 八上小学校 西トイレ (AM8:00~9:00)

6/24 (土) 篠山中学校 運動場トイレ (AM8:00~9:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。